

日本教材学会 第38回研究発表大会

2026年10月17日(土)・18日(日)

会場：聖徳大学 7号館（千葉県松戸市岩瀬 550）

日本教材学会は「第38回研究発表大会」を、2026（令和8）年10月17日（土）・18日（日）の2日間、千葉県松戸市の聖徳大学を会場として開催いたします。実りある大会となりますよう、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日本教材学会 第38回研究発表大会実行委員会 委員長代理 腰川 一恵

① 開催概要

日時	2026年10月17日(土)～18日(日)
会場	聖徳大学 7号館 千葉県松戸市岩瀬 550 https://www.seitoku-u.ac.jp/access/
主催・共催	主催：日本教材学会／共催：聖徳大学
後援	後援：千葉県・松戸市・柏市・我孫子市・流山市の各教育委員会

② 大会参加費

区分	事前申し込み (10月9日まで)	当日参加
会員	3,000 円	4,000 円
非会員	4,000 円	5,000 円
学部生・院生／千葉県内の学校の教員 (会員・非会員問わず)	1,000 円	1,000 円
情報交換会（1日目 17:30～19:00）	6,000 円	
発表要旨集 書籍版（希望者のみ）	1,000 円	

※ 受付混雑緩和のため、**10月9日(金)**までにお申し込み・お振込みをお願いします。事前受付後にご欠席された場合の返金はできません。

※ 発表要旨集はデータ版を参加者へ配信します。書籍版・情報交換会をご希望の方は申し込みの際にお知らせのうえ、参加費と合わせてお振込みください。

※ 学部生・院生、千葉県内の学校の教員には、発表要旨集の書籍版を当日無料にてお渡しします。

③ お申し込み・お振込

 スマホで読み取り	☆ お申し込みはこちらから ☆ https://forms.gle/Du61m4tWTtYkBcvT6	☆ 参加費のお振込口座 ☆ 【ゆうちょから】〔記号番号〕00130-3-405079 【他行より】ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900） 〇一九店（ゼロイチキュウ：019）当座 0405079 口座名義：日本教材学会（ニホンキョウザイガッカイ）
---	---	--

④ 大会日程

1日目 10月17日(土)		2日目 10月18日(日)	
9:00～	受付	9:15～	受付
9:30～11:30	自由研究発表①（各会場） 各発表 25 分 × 4 / 発表 20 分 + 質疑 5 分	9:30～11:00	研究プロジェクト（各会場） 4 プロジェクト / 各 90 分
11:40～12:25	理事会	11:40～12:10	関東・甲信越支部総会（30 分）
13:15～13:30	開会式・「学会賞」表彰式	12:20～14:50	自由研究発表②（各会場） 各発表 25 分 × 5 / 発表 20 分 + 質疑 5 分
13:30～17:00	シンポジウム（210 分） ※ 関東・甲信越支部研究会との合同開催		
17:30～19:00	情報交換会 10 号館 スパンカ		

※ 会場内で、日本図書教材協会加盟教材会社の教材展示（小・中学校用）を予定しています。

第38回研究発表大会 シンポジウム

学校用教材の現状・課題とこれからの姿を探る

— 次期学習指導要領の方向性を踏まえて —

2026年10月17日（土）13:30～17:00 / 聖徳大学 7号館 7308 教室

※関東・甲信越支部研究会との合同開催

趣旨

学校用教材を取り巻く環境が大きく変化する中、次期学習指導要領に向けて、内容の重点化や「余白」の創出、探究的な学び、デジタル・生成 AI の活用などが議論されています。本シンポジウムでは、基調講演を踏まえ、学校現場や教材作成・販売者が抱える課題、次期学習指導要領の方向性を授業や教材としてどのように具体化し、子どもたちの学びにつなげていくのかについて議論します。また、新たな教材の可能性が広がる中で、教材をどのように捉え、位置付けていくのかについても検討します。当日は登壇者からの話題提供に加え、参加者との意見交換の時間も設け、これからの学校用教材のあり方についてともに考えます。

議論の柱

「様々な教材が共存する中で、これからの子どもたちにどのような力を育てることが大切なのか」を改めて問い直すことを根底に、次の2点を中心に議論します。

- ① 学校用教材を取り巻く現状や課題（教材の採択・学習環境を含む）と、それらへの対応について共有する。
- ② その上で、次期学習指導要領の方向性を踏まえ、今ある教材をどのように活用・改善し、これからの教材のあり方をどのように構想していくことが望ましいかを考える。

プログラム（210分）

第1部 基調講演

文部科学省 岩岡 寛人 氏／60分

第2部 ディスカッション

シンポジスト提案・討論・質疑／120分

総括

岩岡 寛人 氏／10分

13:30～13:35	開会・講師紹介
13:35～14:35	【第1部】基調講演（60分）
14:35～16:45	【第2部】シンポジストによるディスカッション・参加者との意見交換（120分、途中休憩10分）
16:45～16:55	総括（10分）
16:55～17:00	閉会あいさつ

登壇者

基調講演・総括	岩岡 寛人 氏（文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 学校教育官）
コーディネーター	朝倉 徹 氏（東海大学 教授）
シンポジスト	市川 洋子 氏（日本教材学会 会長代行・敬愛大学 教授） 菊地 聖子 氏（松戸市立松ヶ丘小学校 校長）／長澤 佑亮 氏（沼津市立第三中学校 教諭） 芳山 諒馬 氏・梅津 丈暉 氏（埼玉大学大学院教育学研究科） 渡部 竜士 氏（日本教材学会 事務局長・一般社団法人日本図書教材協会 専務理事事務局長）

※登壇者は予定です。変更となる場合があります。

参加対象

日本教材学会会員・非会員を問わずご参加いただけます。研究者、教員（小・中・高）、学生・大学院生、教材出版社、教材販売店の皆様のご参加をお待ちしております。※シンポジウムの様子は、大会終了後に録画配信を予定しています（期間限定・希望者のみの特定配信）。

お申し込み・参加費は表面をご覧ください ▶ <https://forms.gle/Du61m4tWTtYkBcvT6>

自由研究発表① 10月17日(土) 9:30～11:30

分科会① 総合・教材論 司会：太田 伸也・青木 一起

発表者	共同研究者	教科・領域	発表テーマ
青木 一起	—	教材論 (SEL)	心理的安全性を高め、相互支援を促す包括的 SEL 教材の開発と効果検証 — 小・中学校における汎用的実践と大学生を対象とした実証研究の統合 —
石川 祐基治	—	社会	社会的場面向き合うアンガーマネジメント教育の教材化 — 「ソーシャルアンガーマネジメントゲーム」の開発と実践 —
宮川 詠子	—	総合 (「食」食料安全保障)	社会的課題を扱う探究学習の授業構成 — 食料安全保障を題材としたシリアスゲームの実践を通して —
畑野 裕子	—	総合 (日本の伝統・文化)	伝統的身体表現を基盤とする教育コンテンツ構築の可能性に関する一考察

分科会② 算数・数学 1 司会：花園 隼人・堤 康嘉

発表者	共同研究者	教科・領域	発表テーマ
堤 康嘉	—	算数・数学	結び目教材の一考察
金沢 太陽	—	算数・数学	中学校数学科における数理科学的意思決定力の育成に関する一考察
花園 隼人	—	算数・数学	構造化された数学的問題設定課題に対する非構造的な探究に関する一考察

分科会③ 算数・数学 2 司会：黒澤 寿美・安達 心

発表者	共同研究者	教科・領域	発表テーマ
安達 心	—	教材論	特殊的好奇心の探索を支える教材構造 欠落角教材の分析を通して
佐藤 寛人	—	算数・数学	数学的モデル化過程における数学的ディスコースの発達に関する一考察
山口 直人	鈴木 奈々美 鈴木 結奈	算数・数学	「紙で学び、採点はデジタル化する」AI 採点技術の活用 — AI 正誤判定ツール「MITORU」開発の背景と実践検証 —
黒澤 寿美	—	算数・数学	和算「方陣」を活用した数学的思考過程の可視化 — 解決過程追跡アプリの開発と教育的可能性 —

分科会④ 音楽 美術 技術 特別支援教育 司会：松家 麻記子・石塚 真子

発表者	共同研究者	教科・領域	発表テーマ
石塚 真子	—	音楽	ハンドカスタの多様な音色や奏法に着目した学びについて
恒賀 康太郎	—	美術	アート思考と『閉じない問い』による対話的鑑賞の実践 — 生成 AI を用いた思考プロセスの可視化 —
樋口 大輔	—	技術	のこぎりびきにおける作業記録動画を用いた技能言語化活動が直線切断技能に与える効果
松家 麻記子	池畑 美恵子	特別支援教育	パネルシアターのインクルーシブ教育への活用の可能性 — 日本とベトナムにおける実践・共同研究を通して —

分科会⑤ 幼児教育 司会：小野沢 美明子・井口 眞美

発表者	共同研究者	教科・領域	発表テーマ
井口 眞美	—	幼児期教育	保育者養成校における KAPLA を用いた地域連携の実践
三島 秀晃	石原 成	教材論	保育者養成におけるスケッチブックシアター教材の設計に関する研究 — 実習前学修と幼児期に育みたい資質・能力との関連に着目して —
矢田 敦之	—	幼児期教育	幼児の背理法的思考を引き出す環境構成 — 「4 色魔方陣」における個人試行と全体俯瞰の併用を通して —
小野沢 美明子	—	幼児期教育	協働参加による活動の創造的展開と子どもの社会的世界の広がり — フィンランド・ヴィヒティ市立クオッパヌミ保育園を中心として —

自由研究発表② 10月18日(日) 12:20~14:50

分科会⑥ ICT・教材論 司会：三小田 美穂子・二宮 皓

発表者	共同研究者	教科・領域	発表テーマ
二宮 皓	—	デジタル教材の開発	シンガポールにおける教育 DX と「デジタル教材」の開発 —SLS プラットフォームを中心に—
澤柿 教淳	小林 直木 一ノ瀬 浩子 平井 正人	メディア活用 (電子黒板)	新たな入力インターフェースを具備する電子黒板の教育分野における活用 方法の検討とその効果の実証的検証
大沢 裕	—	高等教育 (保育者養成)	AI と VR を融合した保育者養成用教材の開発 —熟練者の可視化によるリスク察知能力の育成—
山野 正人	—	ICT 活用	「Less Is More」—デジタル学習環境における認知負荷 —「足す」設計から「引く」設計へ—
矢澤 典子	—	教材論	「教材活用の枠組みをもたない教育実践」における教材導入・運用 —中学生対象の地域スポーツクラブにおける事例報告—

分科会⑦ 国語・外国語 司会：相澤 一美・細川 太輔

発表者	共同研究者	教科・領域	発表テーマ
細川 太輔	—	国語	古典の学習における生成 AI の利用 —教育学部学生対象の授業分析から—
遠藤 清将	—	国語	高等学校国語科における話し合い観の対象化を図る教材開発 —生成 AI を用いた理想の話し合い台本作成の実践を通して—
堀口 史哲	—	国語	読み手意識と目的意識を併発させる書くことの国語科実践の提案 —小学3年生による「給食だより」を読み比べる授業を手掛かりに—
名淵 浩司	—	外国語	児童の読む力育成を目指した絵本音読指導の検討 —学年の違いによる変容に着目して—
佐藤 研仁	—	外国語	生成 AI による英語段階別読みものの教材の作成可能性 —語彙プロファイル分析を中心に—

分科会⑧ 社会 司会：伊藤 裕康・松本 卓也

発表者	共同研究者	教科・領域	発表テーマ
松本 卓也	—	社会	メディア史的アプローチによる小学校社会科歴史学習の教材開発
杉山 比呂之	—	社会	「自己決定」を鍵概念とした歴史総合の教材開発 —オーストラリアのカウラ事件をもとにして—
恒川 徹	—	社会	「歴史を見る目」を育てる社会科教材の開発 —現代的課題に向き合うための歴史教材の価値—
飯田 太一	伊藤 裕康	社会	地域社会に対する誇りと愛情を養うための地域教材の開発に関わる研究 —高学年社会科における「狭山茶」の教材開発を通して—
伊藤 裕康	—	社会	教員養成における PBL に基づく教材開発 —「出力型授業観」に基づく「関東かるた」制作を中心にして—

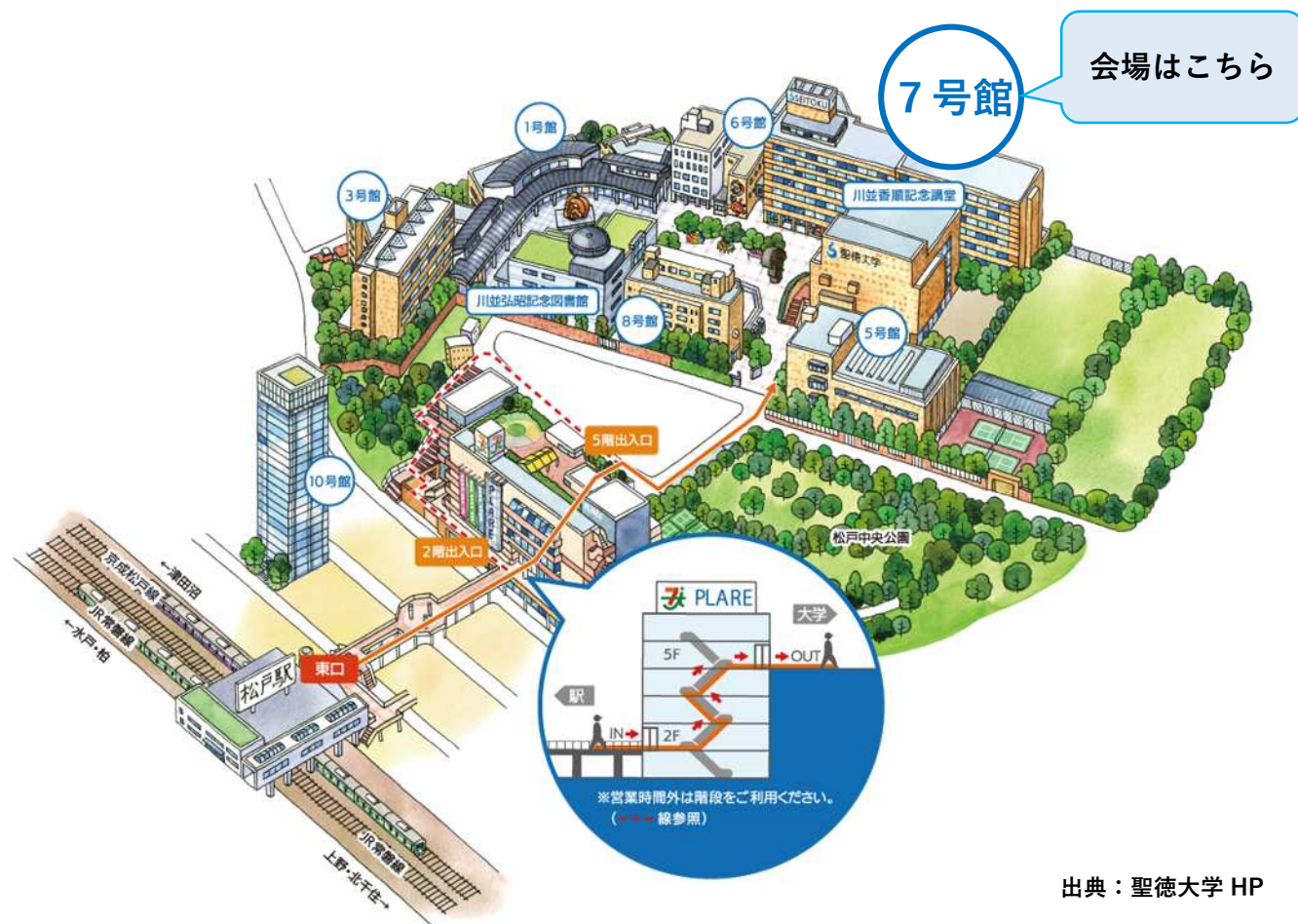
分科会⑨ 理科 算数・数学 教育方法 司会：郡司 賀透・前田 善仁

発表者	共同研究者	教科・領域	発表テーマ
中村 泰輔	—	理科	Nature of Scientific Inquiry の理解促進を図る理科教材の特質 —教材の類型と教授アプローチとの関連を手掛かりとして—
関根 達郎	—	高等教育 (教育方法)	教職課程での実践的な授業の研究 —教育方法と理科教育の授業を連携させる教材開発—
中嶋 太	—	個別最適な学び と協働的な学び の一体的な充実	社会科・理科における「水の学び」の一体的学習展開の考察 —複数教科同時進行による単元内自由進度学習をととして—
折霜 文男	—	理科	化学を身近に感じさせるノーベル賞・科学史を活用した授業実践
永山 香織	—	算数・数学	動的幾何環境における四角形の関係を活用する教材についての考察

研究プロジェクト発表 10月18日（日）9:30～11:00

研究代表者	共同研究者	テーマ
石川 勝彦	百瀬 光一 江原 謙介	心理教育として道徳データサイエンスの提案
増田 有紀	山口 直人 鈴木 奈々美 鈴木 結奈	デジタル社会における教材の実践的・理論的な研究 主に小学校用教材（算数科）の改良と開発
東尾 晃世	柳本 朋子	個別最適な学びを実現するデジタル教材の有効性
藤井 大亮	朝倉 徹 前田 善仁 細矢 智寛 木野 正一郎	教材と教科教育の理論的・実践的研究 一教材作成の観点を気づきや学習目標から新提案する一

< 聖徳大学へのアクセス > <https://www.seitoku-u.ac.jp/access/>



JR 常磐線・JR 上野東京ライン・JR 乗り入れ地下鉄千代田線・京成松戸線「松戸」駅下車 徒歩 5 分
松戸駅東口を出てまっすぐ進み、イトーヨーカドー内のエスカレーターを利用して 5 階へ。5 階出口からキャンパスは目の前です。

※イトーヨーカドー営業時間は通常 10 時からとなります。その前にお越しの方は、イトーヨーカドー 2 階入り口向かって左横にある階段をご利用ください。

※駐車場は用意しておりません。お車でのご来場はご遠慮ください。